

## 会 議 録

会 議 名	令和7年度目黒区放課後子ども総合プラン運営委員会
日 時	令和7年11月17日（月）午後6時30分～午後7時30分
場 所	目黒区総合庁舎地下1階 入札室
出 席 者	<p>【委員】</p> <p>後藤委員長（子ども若者部長）、高橋副委員長（教育次長）、大竹委員、保刈委員、高田委員、金井委員、山本委員、鈴木委員、羽根石委員、和田委員</p> <p>【事務局】</p> <p>教育委員会事務局生涯学習課長</p>
傍 聴 者	なし
配 布 資 料	<p>次第</p> <p>座席表</p> <p>資料1 目黒区放課後子ども総合プラン運営委員会委員名簿</p> <p>資料2 目黒区放課後子ども総合プラン運営委員会設置要綱</p> <p>資料3 会議の公開等の取扱いについて</p> <p>資料4 区における放課後子ども総合プランの概要</p> <p>資料5 令和6年度ランランひろばの実施結果について</p> <p>資料6 令和7年度放課後子ども総合プラン運営協議会の開催結果について</p> <p>資料7 令和6年度子ども教室の実施結果について</p> <p>別紙 令和6年度子ども教室実施結果</p>
会 議 次 第	<p>1 開会</p> <p>2 委員紹介</p> <p>3 議題</p> <p>（1）会議の運営について</p> <p>（2）区における放課後子ども総合プランの概要について</p> <p>（3）令和6年度ランランひろばの実施結果について</p> <p>（4）令和6年度子ども教室の実施結果について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>

<p>会議の結果 及び 主な発言</p>	<p>1 開会</p> <p>2 委員紹介</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 会議の運営について 資料3により委員長から、会議の運営や公開等の取扱いについて説明した。</p> <p>(2) 区における放課後子ども総合プランの概要について 資料4により委員長から、区における放課後子ども総合プランの概要について説明した。</p> <p>(3) 令和6年度ランランひろばの実施結果について 資料5及び資料6により委員長から、令和6年度ランランひろばの実施結果及び令和7年度放課後子ども総合プラン運営協議会の開催結果について説明した。</p> <p>(委員) 資料5裏面の登録率について、向原小学校の登録率は48%と低いのはなぜか。また、ランランひろばは小学校にお住まいの児童であれば利用できるが、資料5の表には、公立小学校の児童数は書いてあるが、公立以外の児童数の記載がないため、登録人数を知りたい。</p> <p>(委員長) 向原小学校は建替え中であるため、活動場所が制限されており、その関係で利用が少なくなっている。建替え工事は今後も続くため、この間はこのような登録率が続くものと思われる。 また、私立小学校在籍児童のランランひろば登録人数は、幼児も含め合計671名の登録がある。</p> <p>(委員) 登録していない子どもたちは、他に放課後の居場所が確保できているのかということが気になっている。</p> <p>(委員長) 放課後の居場所はランランひろば、学童保育クラブだけではないため、児童館等の様々な場所で放課後を過ごしていると思われる。</p> <p>(委員) 実施場所のタイムシェアについて、小学校との調整があり、使用後は原状復帰などを行っていると思われるが、現状はどういう状況なのか。また、子ども会議や意見箱の設置とあるが、子どもたちからどういう意見があったのか知りたい。</p> <p>(委員) タイムシェアということで、日々、職員室に行き副校長、教諭へ挨拶や活動場所の確認、調整を行っている。毎日行うことで、良い関係を築けている。 意見箱については、小学校内学童保育クラブ、ランランひろば双方に設置している。「子どもたち主体のイベントがやりたい」、「玩具を購入してほしい」など率直な意見が聞けている。事業者としても、意見を運営に反映できるように工夫している。</p>
------------------------------	--

実際に5年生が主体となった鬼ごっこ「逃げ隠れ中」というイベントを運営職員と協力して行った。

(委員長) また、子ども会議は、ランランひろばの利用の仕方や遊びのルール、言葉遣いなどについて話し合っただけでフィードバックをしている。

(委員) 子ども会議や意見箱はすべてのランランひろばで実施されているのか。

(委員長) おっしゃるとおり、すべてのランランひろばで実施している。

(委員) この委員会において、ランランひろば登録者数や利用者数などについて、前年度から増加を目指すなどの目標値などはあるのか。

(委員長) 目標値の設定はしていない。本日配布した資料2 運営委員会設置要綱の第1条の目的、第2条の所掌事項に基づき実施しているが、会の中で目標値などご意見があれば伺いたい。今後の行政の運営の中で参考にさせていただく。

#### (4) 令和6年度子ども教室の実施結果について

資料7及び別紙により事務局(生涯学習課長)から、令和6年度子ども教室の実施結果について説明した。

(委員) 委託費について、人件費に充てることができるのか。町田市では、高校生までは児童館を利用し、児童館を利用してきた大学生たちに研修を受けてもらい、非常勤職員として18時から21時の間、児童館運営に関わっている。

大学生たちがアルバイトなど何らかの形で、参加できる費用が加算されると子ども教室の運営も世代も若くなっていくのではないのか。

(事務局) 委託料の運営費は一講座1万円でカウントしている。年度当初に各小学校区の団体に実施回数を確認し、実施回数に応じた委託料を支払っている。

支出処理については、講師謝礼、安全管理員、消耗品費、通信運搬費など子ども教室を開催するための経費に使用していただいている。

児童館のアルバイトがどのような形で携わっているのかについては研究させていただきたい。

(委員) 一講座1万円という話があったが、その1万円のなかで、人件費、材料費などすべてを賄うということか。

(事務局) 1万円×講座数が運営費となり、その他事務経費を約28万円支払っている。合計で申し上げると、運営費と事務費という構成となっている。

(委員) 年間金額を実施回数で割った平均値が8,000円のところもあれば、14,000円のところもありばらつきがある。翌年度の実施について、行政からのフィードバックなどはあるのか。

(事務局) 相談があった場合には、他の団体の状況を示すこともあるが、各団体の状況、予算、決算について細かく開示することはしていない。

子ども教室の担当者が一同に会する会議が年2回開催されており、その中

で各団体の共通課題について意見交換をする場はある。会の中で、各団体の状況の共有は行っている。

#### 4 その他

(委員) 今年度よりランランひろばの実施日、実施時間の拡大、入退室管理システムの導入、昼食支援を行ったことで、学童保育クラブを選択しなくても放課後の時間を過ごせるランランひろばを選択する傾向が見られている。

その結果、学童保育クラブの待機児童の解消につながっている。

(委員長) 令和7年4月時点での学童保育クラブ待機児童数は246名という数字が出ている。数字だけ見ると待機児童が多いのではないかという指摘もあるが、放課後の居場所という観点からみれば、ランランひろばがあり居場所は確保できていると思う。学童保育クラブとランランひろばがまったく同じかと問われればそれは違うというご意見はある。居場所が確保されている点を見れば、確保できているものと考えている。

(委員) ランランひろばを始め、子ども教室もそうだが、放課後の時間が長くなっている。子どもの居場所のためにとっても大切な事業だと感じている。

本校では校庭を使って遊んでいる姿を見ることが多いが、特徴として異学年でのやりとりができるところは微笑ましく見させていただいている。

学校教育の中では、特別活動の枠の中で異学年の交流を行うことがあるが、限定的になるため、より子どもの自主性を育てるという観点からも良い時間になっていると思う。

(委員長) 各放課後の居場所でそれぞれ良さがある。異学年の交流など居場所として貢献できているように思う。児童館など他にも居場所はあるが、現在区として課題と捉えているのは、児童館に行ける児童は居場所があるが、児童によっては悩みが様々あるため、児童館や学童保育クラブに行きたくない、行けない児童もいるため、そのような児童の居場所の確保をしていく必要があると思っている。

誰にも気を遣わずに、素の自分を出せるような居場所がこれから必要であると思っており、今後の区取組の一つであると考えている。

(委員) 小学生の放課後の居場所のチラシは、どこで配られているものなのか。記載について、ランランひろばは小学校区が対象であるため、「校区」を加えた方が良い。また、対象者に「主に実施校の在籍児童」と書いてあるが、ランドセル広場は乳幼児も保護者同伴であれば使用できた。来年は改定されていると思うが、その部分が違っていると感じた。

(委員長) 確かに誤解して捉える部分もあるかと思う。この資料については今後使用せず、新たな資料を作成し、周知を図っていく際に参考にさせていただく。

(委員) 昨年11月に引っ越してきて、ランランひろばなどはよくわからず、学童保育クラブが密に対応してくれるという思い込みがあっただけで、学童保育クラブを選択した。今回、勉強したことで入退室管理ができることやランランひろ

ばの先生たちもよく見てくれており、大人の目がある中で過ごしていることがわかる。

そういったことが保護者に伝わっていないのではないかと思います。今回配布された書類がもっと保護者の目に触れるところであれば良いのではないかと思います。

(委員長) 区としてもしっかり周知は行っているつもりではあるが、足りない部分もあると思う。今後も周知を行っていく。

5 閉会

以 上